

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第49号(週報・月報合併号)

2011年第49週(12月5日~12月11日)、月報11月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— マイコプラズマ肺炎 : 例年と比較して患者報告数が多い! —

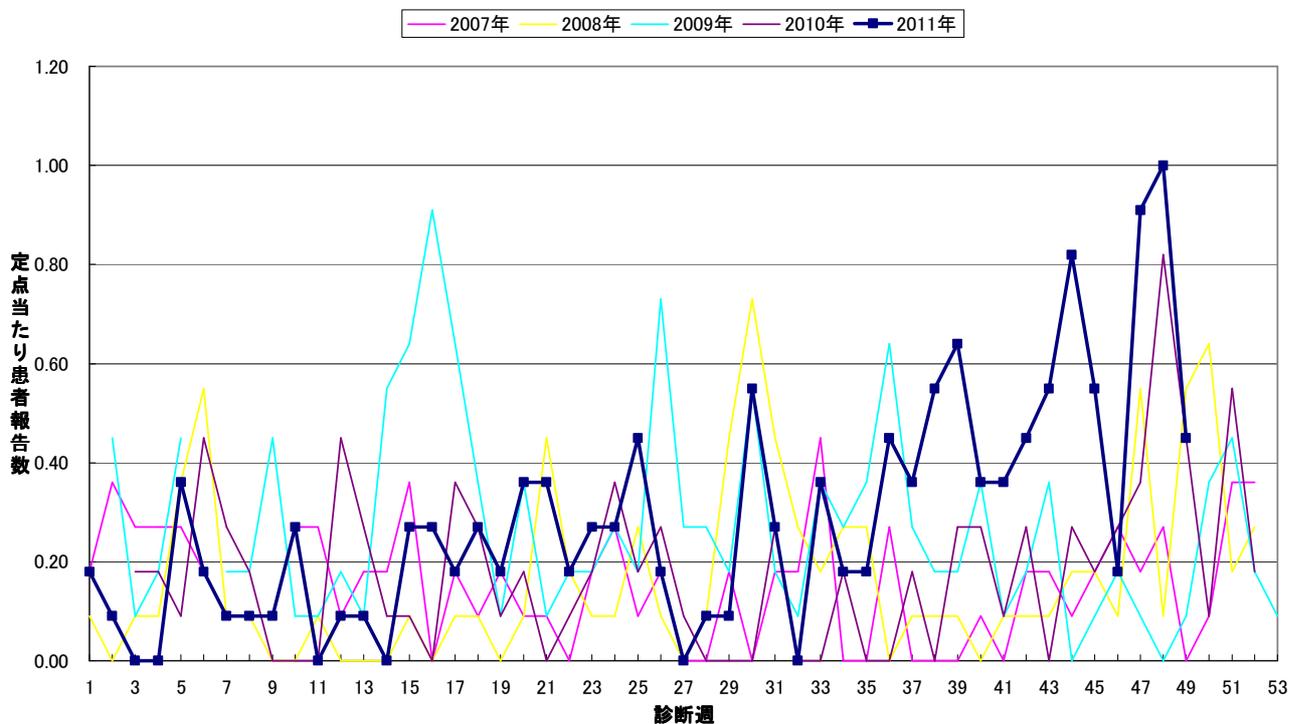
県全体の定点当たり患者報告数は、0.45人(前週:1.00人)と減少しましたが、過去5年間の同時期と比較して多い状況が続いています。

今年は全国的に患者報告数が多く、第25週以降は1999年の調査開始以降の同時期と比較して最も多い状況が続いています。第48週の全国の定点当たり患者報告数は1.46人でした。

感染予防策としては、風邪やインフルエンザと同様で、手洗い、うがい、咳エチケットの励行等です。

マイコプラズマ肺炎の詳しい説明はこちら: 国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話
(http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_09.html)

マイコプラズマ肺炎(和歌山県全体)



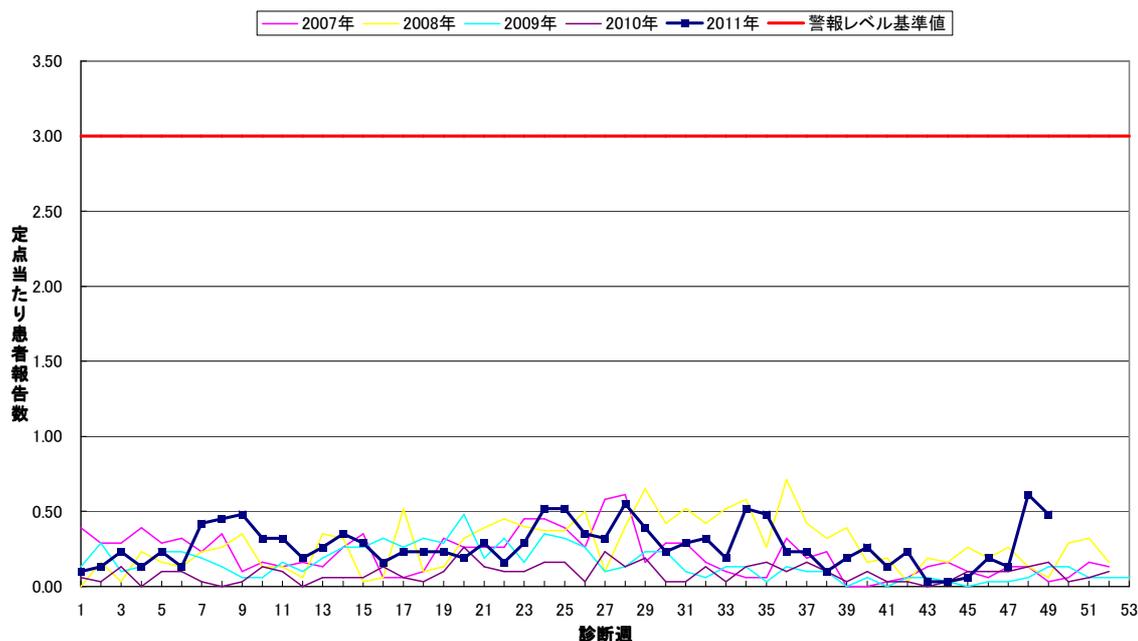
－ **咽頭結膜熱**：岩出保健所管内で引き続き患者報告数が多い！－

第49週の岩出保健所管内の定点当たり患者報告数は2.50人（前週：3.25名）と減少しましたが、引き続き警報レベルとなっています。県全体では報告数が0.48人（前週：0.61名）で、過去4年の同時期と比較して若干多い状況です。

咽頭結膜熱は飛沫感染や接触感染で伝播します。別名、プール熱といわれており、通常、夏季に流行が発生しやすい感染症です。また、本症の感染予防としては手洗いやうがいの励行、感染者との密接な接触を避けることなどが重要です。

咽頭結膜熱の詳しい説明はこちら：国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_14.html

咽頭結膜熱(和歌山県全体)

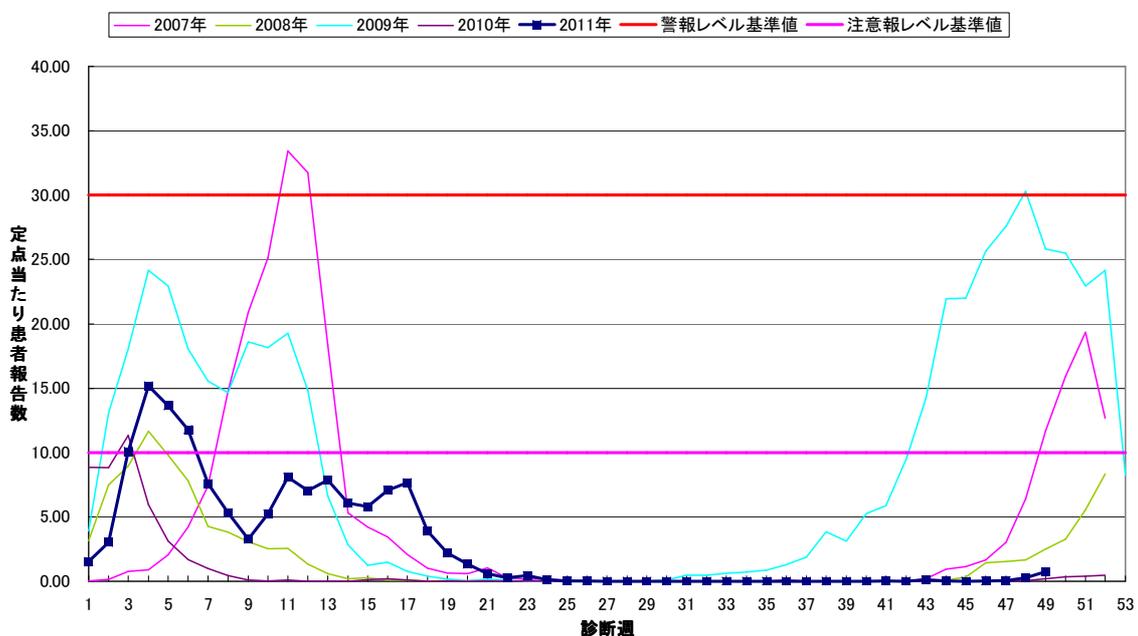


◆◆ **これから注意が必要な感染症** ◆◆

－ **インフルエンザ**：岩出保健所管内で患者報告が増加中。今後の動向に注意！－

インフルエンザは、例年11月下旬から12月上旬に患者報告が増加し、翌年1月から3月にかけて流行のピークを迎えます。今年はまだ県全体の患者報告数は特に増加していませんが、岩出保健所管内の定点当たり患者報告数が4.33人（前週：2.17人）と増加傾向にあるため、今後の動向に注意が必要です。

インフルエンザ(和歌山県全体)



－ 感染性胃腸炎 ： 例年は年末頃に流行のピーク。今後の動向に注意！ －

感染性胃腸炎は、細菌やウイルス等による感染症で、発熱、嘔吐、下痢等が主な症状です。

例年は10月頃から患者報告数が増加し、年末から年始にかけてピークを迎えますが、今年は今のところ大きな患者報告数の増加は確認されていません。

冬季の流行はウイルス感染によるものが多く、原因となる病原体は流行期前半ではノロウイルスが多いと言われています。ノロウイルスの感染力は強く、患者の吐物・便から手指を介して感染することも多く、その取り扱いに注意が必要です。

感染性胃腸炎の感染予防としては、次のようなポイントがあります。

○手を洗いましょう。

外出先から帰った後や、トイレの後、調理の前には、消毒液や石けんで十分手を洗いましょう。タオルは共有せず専用のものにしましょう。

○食品の取り扱いに注意しましょう。

加熱する場合は、食品の中心まで火が通る(85℃、1分)ようにしましょう。まな板、包丁、ふきん、タオル等も熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱が有効です。

○患者の吐物等の処理に注意しましょう。

素手で触らないように使い捨てビニール手袋等を着用しましょう。

使い捨て布等で拭き取った後、ビニール袋などに入れて外に漏れないようにして捨てましょう。

汚染された床は、塩素系漂白剤を約200倍程度に薄めてペーパータオルなどでふき取り、30分ぐらいたら、十分水ぶきをしておきましょう。

※塩素剤の取り扱いは、ビニール手袋などして、十分換気しましょう。

※金属物は腐食を起こすので消毒後十分拭き取りましょう。

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	－
感染性胃腸炎	20	12	－
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	－
伝染性紅斑	2	1	－
百日咳	1	0.1	－
ヘルパンギーナ	6	2	－
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	－
流行性角結膜炎	8	4	－

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「－」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 6名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：つつが虫病 2名、日本紅斑熱 1名
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	437
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	7
E型肝炎	1
A型肝炎	1
つつが虫病	6
日本紅斑熱	21
レジオネラ症	2
アメーバ赤痢	4
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	1
梅毒	4
破傷風	2

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

咽頭結膜熱（岩出保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	37	-	2	-	1	3	2	1	-	-	2	4	17	-	-	2	2	-	-	-	1
	定当	0.74	-	0.04	-	0.02	0.06	0.04	0.02	-	-	0.04	0.08	0.34	-	-	0.04	0.04	-	-	-	0.02

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	13	3	2	3	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.42	0.1	0.06	0.1	0.06	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	15	-	-	1	1	2	6	1	2	-	1	1	-	-	-
	定当	0.48	-	-	0.03	0.03	0.06	0.19	0.03	0.06	-	0.03	0.03	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	40	-	-	-	4	2	4	5	7	6	7	1	3	-	1
	定当	1.29	-	-	-	0.13	0.06	0.13	0.16	0.23	0.19	0.23	0.03	0.1	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	87	1	6	12	9	10	13	8	11	4	2	3	8	-	-
	定当	2.81	0.03	0.19	0.39	0.29	0.32	0.42	0.26	0.35	0.13	0.06	0.1	0.26	-	-
水痘	報告	42	2	-	6	10	8	7	3	4	-	1	1	-	-	-
	定当	1.35	0.06	-	0.19	0.32	0.26	0.23	0.1	0.13	-	0.03	0.03	-	-	-
手足口病	報告	48	-	1	10	11	12	7	3	2	-	2	-	-	-	-
	定当	1.55	-	0.03	0.32	0.35	0.39	0.23	0.1	0.06	-	0.06	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	18	-	1	-	1	-	4	3	5	1	1	1	1	-	-
	定当	0.58	-	0.03	-	0.03	-	0.13	0.1	0.16	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-
突発性発疹	報告	15	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.48	-	0.23	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	5	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.16	-	-	-	0.03	0.06	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

	和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	11	-	26	-	-	-	-	-	-
	0.73	-	4.33	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	5	-	5	2	-	-	1	-	-
	0.56	-	1.25	0.5	-	-	0.25	-	-
咽頭結膜熱	-	-	10	-	-	-	5	-	-
	-	-	2.5	-	-	-	1.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	-	5	1	4	8	12	5	-
	0.56	-	1.25	0.25	1.33	4	3	2.5	-
感染性胃腸炎	45	13	11	4	5	-	5	4	-
	5	6.5	2.75	1	1.67	-	1.25	2	-
水痘	21	1	6	8	3	-	1	2	-
	2.33	0.5	1.5	2	1	-	0.25	1	-
手足口病	2	2	10	7	10	3	13	1	-
	0.22	1	2.5	1.75	3.33	1.5	3.25	0.5	-
伝染性紅斑	5	-	3	5	1	1	3	-	-
	0.56	-	0.75	1.25	0.33	0.5	0.75	-	-
突発性発疹	4	5	3	-	1	-	1	1	-
	0.44	2.5	0.75	-	0.33	-	0.25	0.5	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	1	1	-	-	-	-
	0.33	-	-	0.25	0.33	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	1	…	2	-	-	1	1	-	…
	0.33	…	2	-	-	1	0.5	-	…
クラミジア肺炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

11月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.27人(10月:1.82人)と最も多くなっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の88%占めています。その他の感染症は、毎月0～数名と和歌山県では特に多くはありません。

【11月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	22
	定当	2.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.27	2
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	定当	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2011 年第 49 号

発行日：平成 23 年 12 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。